

# 第 25 回精神神経内分泌免疫学 (PNEI) 研究集会

## 1. 日程

2018年6月30日(土)13:30~17:30 受付(13:00~)

## 2. 主催

社団法人日本心理学会所属下部組織 精神神経内分泌免疫学研究会

## 3. 代表

菅谷 渚 (横浜市立大学 医学群 健康社会医学ユニット)

## 4. 会場

横浜市立大学 金沢八景キャンパス YCUスクエア 4階 Y403教室  
(〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22-2)

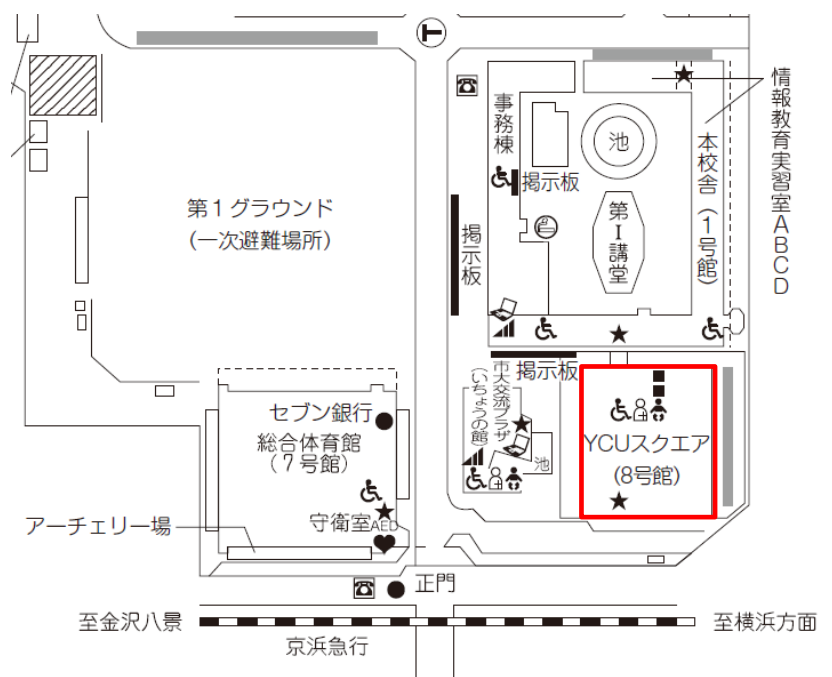
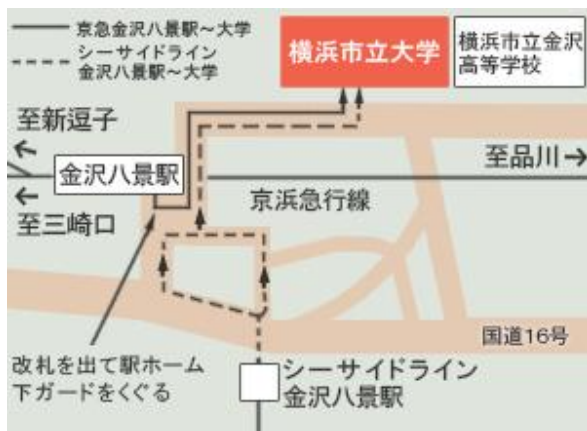
※当日はYCUスクエアにて保護者説明会が行われている為、混雑している可能性があります。

## 5. アクセス

●京浜急行線「金沢八景駅」下車徒歩5分、シーサイドライン「金沢八景駅」下車徒歩7分

☆主な駅から京浜急行「金沢八景駅」までの所要時間

- ・「横浜駅」から京浜急行快特・特急で約20分
- ・「品川駅」から京浜急行快特・特急で約40分



## 6. プログラム

開会あいさつ 13:30

講演 13:35-14:25

行動免疫の機能と心理学的基盤

岩佐和典(就実大学教育学部教育心理学科)

研究発表 14:35-16:50

演題 1(14:35-15:15)

演題 子どもの感情制御:チャレンジ課題におけるコルチゾール分泌量からの検討

発表者 風間みどり(小田原短期大学・東京女子大学研究員)

演題 2(15:20-16:00)

演題 乳幼児の分離ストレスに対するコルチゾールの反応性と社会性について(仮)

発表者 福田早苗(関西福祉科学大学)、高橋美紀・山根直人・馬塚玲子(理化学研究所)

演題 3(16:10-16:50)

演題 情動記憶形成に及ぼすコルチゾール日内リズムの影響

発表者 永岑光恵(東京工業大学 リベラルアーツ研究教育院)、野口普子(武蔵野大学)、高橋伸彰(佛教大学)、金吉晴(国立精神・神経医療研究センター)、松岡豊(国立がん研究センター)

共同研究企画セッション 16:55-17:25

労働者コホートを利用した精神神経免疫学的研究:これまでの成果

中田光紀(国際医療福祉大学)、井澤修平(労働安全衛生総合研究所)

閉会あいさつ 17:30

## 7. 懇親会

時間:18 時頃から 2 時間程度

場所:Re:Vini (金沢八景駅から徒歩 2 分、URL: <https://www.revini8k.com/>)

会費: 4,000 円~5,000 円

※ 懇親会への参加を希望される方は、6 月 13 日(水)17:00 までに下記のメールにご連絡下さい。

なお、メールの表題には「PNEI 懇親会」と記載願います。

菅谷 渚 [nagisa618@gmail.com](mailto:nagisa618@gmail.com)

## 8. ワークショップ

「初心者を対象とした唾液中バイオマーカーに関するワークショップ」(申し込み制)

唾液からは様々な物質を測定することが可能であり、最近では、ストレスに限らず、様々な分野で、唾液中バイオマーカーが利用されています。また、その利用の仕方、実験室研究やフィールド研究など多岐にわたっています。本ワークショップでは、初心者を対象に、唾液中バイオマーカーについて主に研究計画に関わる部分についてレクチャーを行う予定です。具体的な内容については、参加者の希望も踏まえて決定していきたいと考えています。

日程:2018年6月30日(土)11:00~12:30(予定)

場所:横浜市立大学 金沢八景キャンパス YCU スクエア 4階 Y403 教室

講師:井澤修平 他

参加費(資料代):500円